

XLR125R ボアアップ(174cc)キット 取扱説明書

商品番号	01-02-092
適応車種	XLR125R
車体番号	JD16-1000001~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付けるには、ノーマルシリンダーのスリーブ打ち替え加工が必要となります。加工は内燃機専門店、または最寄りのバイクショップおよび当社にご相談下さい。

この製品を取り付け、小型自動2輪免許、原付2種登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、普通自動2輪以上の免許を取得し、必ず陸運局で中型2輪の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム号機の車両専用用品です。他の車両には取り付けできませんので御注意下さい。

当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキン等の一部は再使用しますが、摩耗、損傷、劣化が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。
(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させるときは、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

特徴

当商品は、排気量を124cc 174ccにアップ、圧縮比は9.2:1 約11.5:1に、変更させるキットです。ノーマルのシリンダーヘッドを使用しますので、低価格で、手軽にパワーアップをお楽しみいただけます。

取り付けに使用する工具等

- ・8mm、10mm、12mmボックスレンチ
- ・8mmディープボックスレンチまたは8mmT形レンチ
- ・ヘキサゴン5mmボックスレンチ(ロングタイプ)
- ・8mmスパナ
- ・+ドライバー大、中、小
- ・ラジオペンチ
- ・プラスチックハンマー
- ・スクレイパー
- ・ウエス
- ・針金または、ひも等

キット内容

ピストン	- 1
シリンダースリーブ	- 1
ピストンリングセット	- 1
ピストンピン	- 1
ピストンピンサークリップ	- 2
シリンダーヘッドガスケット	- 1
シリンダーガスケット	- 1
パルスジェネレーターベースガスケット	- 1
テンショナーリフターガスケット	- 1

取 り 付 け 要 領

1. シリンダーおよびピストンの交換作業を行うにはエンジンを車体から取り外さなければなりません。エンジン脱着作業を行う際はメンテナンススタンド等で車体を確実に安定させて下さい。

○作業は必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。

2. エンジンの取り外し

a. サービスマニュアルを参考にして以下の部品、配線を取り外して下さい。

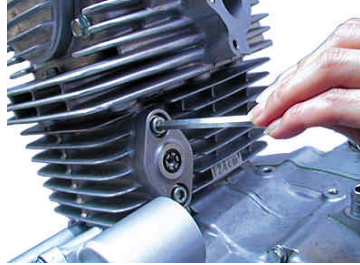
- エキゾーストパイプ/マフラー
- スキッドパイプ
- シート
- サイドカバー
- フューエルタンク
- スパークプラグキャップ
- クラッチケーブル
- スタータモーターケーブル
- スタータモーター
- ACジェネレーター3Pカブラー
- パルスジェネレーター/ニュートラルスイッチ3Pカブラー
- クランクケースブリーザーチューブ
- キャブレター
- ドライブスプロケット
- チェンジベダル

b. エンジン下部にジャッキ等の適当な台を置き、エンジンを支えます。シリンダーヘッドハンガー、フロントエンジンハンガープレート、リアエンジンマウントのボルト/ナットを取り外し、エンジンを車体から取り外します。

○フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。

3. シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

a. カムチェーンテンショナーのシーリングスクリューを外し、ストッパーを時計方向に回して、テンショナーロッド部をロックします。ソケットボルト/シーリングワッシャを2本を外し、カムチェーンテンショナーとガスケットを取り外します。



b. カムスプロケットカバーのボルト2本を外し、カムスプロケットカバーとガスケットを取り外します。



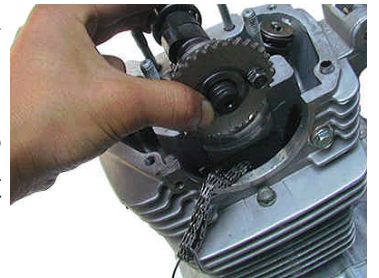
c. クランクシャフトホールキャップとタイミングホールキャップを外します。クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをLクランクケースの合わせマークに合わせて、圧縮上死点であることを確認します。

d. シリンダーヘッドカバーのボルトとナットを対角に2~3回に分けてゆるめて取り外し、シーリングワッシャーとシリンダーヘッドカバーを取り外します。



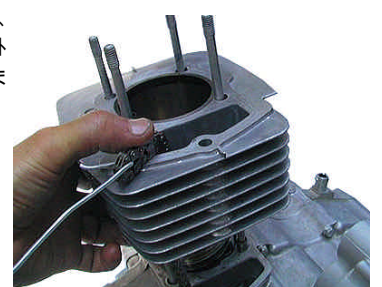
e. カムスプロケットからカムチェーンを外し、カムシャフトを取り外します。

○カムチェーンをクランクケース内に落とさないように注意して下さい。カムチェーンは針金等で吊っておいて下さい。



f. オイルホールプラグ、ノックピン2個を取り外します。シリンダーヘッドボルト/ワッシャを外し、シリンダーヘッドを取り外します。

g. ガスケット、ノックピン2個、カムチェーンガイドを取り外し、シリンダーを取り外します。

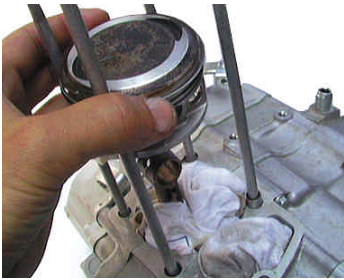


h. ガスケット、ノックピンを取り外します。

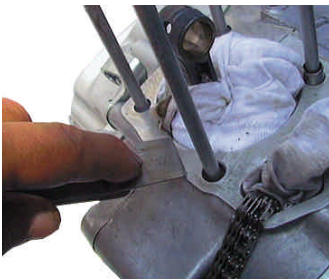
i. ピストンピンサークリップや、ゴミがクランクケース内に落ちないようにクランクケース開口部をウエス等でふさぎます。



j. ピストンピンサークリップを取り外し、ピストンピンを抜き取って、ピストンを取り外します。



k. クランクケース、シリンダー合わせ面に付着したガスケット材をスクレイパー等できれいにはがして下さい。



4. シリンダーの加工

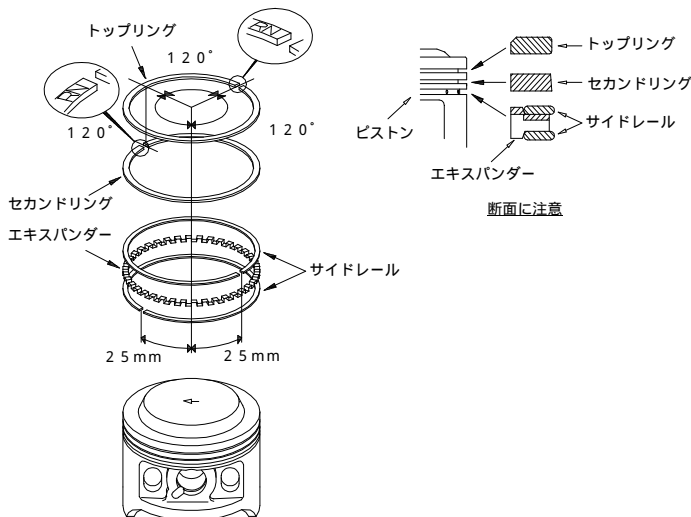
ノーマルシリンダーのスリーブ部を削り落し、付属のシリンダースリーブを圧入します。付属のピストンとのクリアランスが3/100~4/100となるようにボーリング、ホーニングを行って下さい。

○加工は内燃機専門店、または最寄りのバイクショップおよび当社にご相談下さい。

5. ピストンとシリンダーの取り付け

a. 付属のピストンに付属のピストンリングを取り付けます。トップリングおよびセカンドリングには“RN”の文字が入っています。共に文字面を上面向けて下さい。(下図参照)

○ピストンを傷つけたり、ピストンリングを破損しないように注意して下さい。



b. ピストン頭部の“ ”マークを、エキゾースト方向に向け、付属のピストンピン、ピストンのピン穴、コネクティングロッドの小端部にエンジンオイルを塗布して、ピストンピンをさし、付属のピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口はピストンピン穴の切り欠き部を避けて下さい。

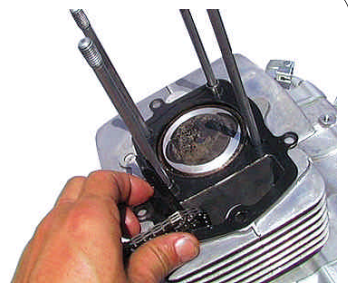
c. ピストンリングにエンジンオイルを塗布して、各リングが、滑らかに回転することを確認して下さい。ピストンリングの合い口は、ピストンピン方向とその直角方向を避け、120度間隔にして下さい(上図参照)。

d. クランクケースとシリンダーの合わせ面をシンナー等で脱脂し、ロックピンと付属のシリンダーベースガスケットを取り付けます。

e. シリンダー内面とピストン外周面にエンジンオイルを塗布して、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付けます。

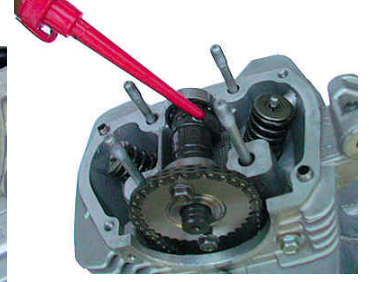
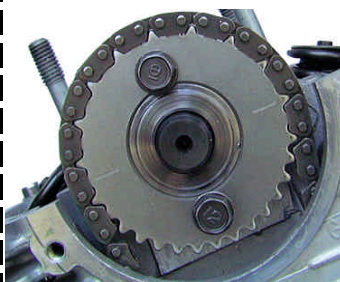
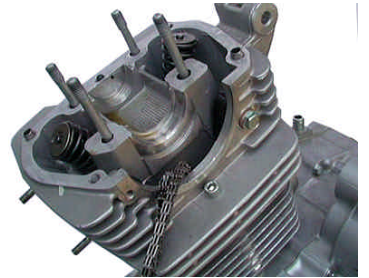


f. シリンダー上面をシンナー等で脱脂し、カムチェーンガイド、ロックピン2個、付属のシリンダーヘッドガスケットを取り付けます。

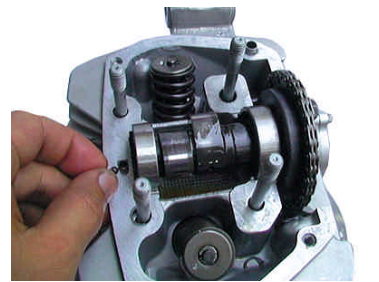


6. シリンダーヘッドの取り付け

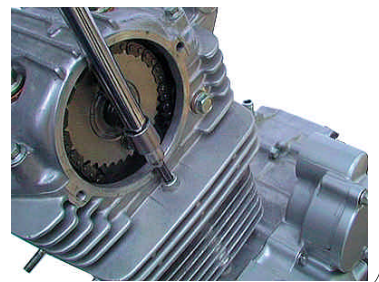
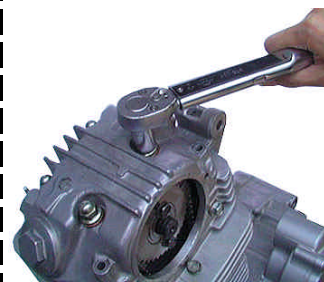
a. シリンダーヘッドの合わせ面をシンナー等で脱脂し、シリンダーヘッドを取り付けて、シリンダーヘッドボルト/ワッシャーを仮止めします。ベアリングにエンジンオイルを塗布し、カムシャフトに取り付けてあるカムスプロケットの刻印線がシリンダーヘッドカバー合わせ面と平行かつカム山が燃焼室側になるように取り付けて下さい。クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをL.クランクケースの合わせマークに合わせていて圧縮上死点であることと、クランクのタイミングスプロケットにカムチェーンがはまっていることを確認し、カムスプロケットにカムチェーンを取り付けます。カムのオイル溜りにエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



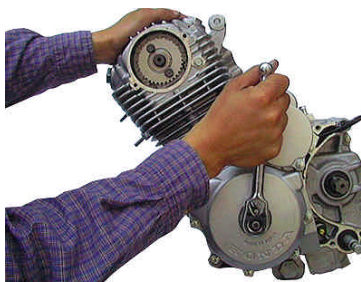
b. オイルホールプラグ、ロックピン2個を確実に取り付け、シリンダーヘッドカバーのシリンダーヘッド合わせ面に液体パッキンを薄く塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。



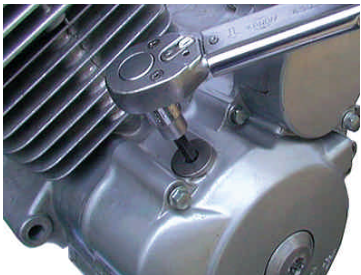
c. シリンダーヘッドカバーナットのねじ部と座面にエンジンオイルを塗布し、シーリングワッシャーと共に取り付けます。シリンダーヘッドカバーボルトを取り付けます。シリンダーヘッドカバーナットを先に規定トルク $2.7 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($2.8 \text{ kgf} \cdot \text{m}$) で、後にシリンダーヘッドカバーボルトを規定トルク $1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m}$) で締め付けます。共に対角に2~3回に分けて締め付けて下さい。仮止めしていたシリンダーヘッドソケットボルトを規定トルク $1.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$) で締め付けます。



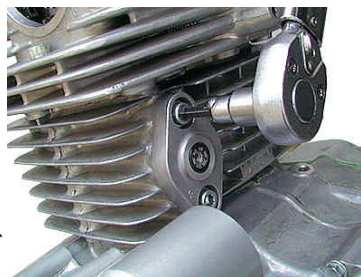
d. クランクシャフトを反時計方向に2回転させて、再度フライホイールの“T”マークをL.クランクケースの合わせマークに合せたときにカムスプロケットの刻印線がシリンダーヘッド上面に平行であることを確認して下さい。



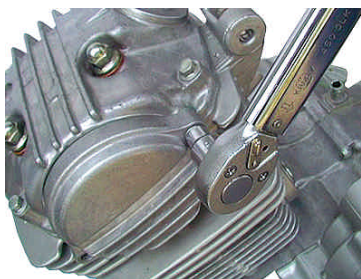
e. クランクシャフトホールキャップを規定トルク 15 N・m (1.5 kgf・m)、タイミングホールキャップを規定トルク 8 N・m (0.8 kgf・m) で締め付けます。



f. カムチェーンテンショナーのストッパーを時計方向に回し、リフタ部がロックしていることを確認して下さい。カムチェーンテンショナーに付属のガスケットを取り付けて、シリンダーにボルト2本で規定トルク 10 N・m (1.0 kgf・m) で締め付けます。カムチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に回し、ロックを解除します。カムチェーンテンショナーのリフトスクリューを取り付け、規定トルク 4 N・m (0.4 kgf・m) で締め付けます。



g. カムスプロケットカバーに付属のカムスプロケットカバーベースガスケットを取り付けて、カムスプロケットカバーをシリンダーヘッドに取り付けます。ボルト2本を規定トルク 10 N・m (1.0 kgf・m) で締め付けます。



7. エンジンの取り付け

- a. フレーム等に傷をつけないように注意してエンジンをフレーム内にセットして、リアエンジンマウント、フロントエンジンハンガープレート、シリンダーヘッドハンガーのボルト/ナットを仮止めします。
- b. ドライブチェーンを取り付けたドライブスプロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。
- c. ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮り止めたエンジンマウントボルト/ナットを下記の順に締め付けます。
- ・リアアッパーエンジンマウントボルト/ナット
: 49 N・m (5.0 kgf・m)
 - ・リアロアエンジンマウントボルト/ナット
: 49 N・m (5.0 kgf・m)
 - ・フロントエンジンハンガープレートボルト/ナット
: 34 N・m (3.5 kgf・m)
 - ・シリンダーヘッドハンガーボルト/ナット
: 34 N・m (3.5 kgf・m)
- d. ドライブスプロケットのフィキシングプレートを取り付け、2本のボルトを規定トルク 12 N・m (1.2 kgf・m) で締め付けます。

- e. クランクケースのL.クランクケースカバーをボルト2本で規定トルク 10 N・m (1.0 kgf・m) で締め付けます。
- f. チェンジベダルを取り付け、ボルトを規定トルク 10 N・m (1.0 kgf・m) で締め付けます。
- g. スパークプラグキャップ、クラッチケーブルをエンジンに取り付けます。ACジェネレーター3Pカブラーパルスジェネレーター/ニュートラルスイッチ3Pカブラーを接続します。
- h. サービスマニュアルを参考にして以下の部品、配線を取り付けて下さい。

ACジェネレーター3Pカブラー
パルスジェネレーター/ニュートラルスイッチ3Pカブラー
スタータモーター
スタータモーターケーブル
スパークプラグキャップ
クラッチケーブル
クランクケースブリーザーチューブ
キャブレター
エキゾーストパイプ/マフラー
スキッドパイプ
サイドカバー
フューエルタンク
シート

8. エンジン始動

- a. 各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないかを確認します。
- b. エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
- c. 風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動して下さい。エンジン内部にエンジンオイルがいきわたるまで約5分間、アイドリングでおいておきます。
- d. エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検して下さい。

9. お願い

- a. 排気量をアップしたにもかかわらず、小型自動2輪免許、原付2種登録のまま一般公道を走行されると違反となります。一般公道を走行される場合は、普通自動2輪以上の免許を取得し、陸運局で中型2輪の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

~当社へシリンダーの加工をご依頼される方へ~

- ・住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上、御同封下さい。
- ・送って頂く時の送料はお客様負担で、当社よりお客様への送料は当社負担です。
- ・当社取扱車種に限らせて頂きます。
- ・当社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。指示通りに作業が行われていない場合、未加工の上お客様負担で返送させていただく事があります。
- ・尚、シリンダー加工時に巣等が発見された場合、当社はその責任を負いません。
スクレイパー等を用いてクランクケースおよびシリンダーヘッド合わせ面のガスケットをきれいに取り除いて下さい。
シリンダーの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。
輸送中の破損等の防止のためシリンダーとシリンダースリーブの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包して下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 式川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>